

令和6年度 歴風トーク第4回

江戸時代のやきものからわかること

— 姫谷焼と石見焼 —

話題提供者 尾崎 光伸さん

(広島県立歴史博物館 主任学芸員)



姫谷焼 色絵飛雲飛雁楼閣山水文中皿
(個人蔵 広島県立歴史博物館寄託)

江戸時代、広島県域では様々なやきものが作られました。
その中から、今回の歴風トークでは、福山藩で17世紀中頃に焼かれた姫谷焼と、広島県域で18~19世紀に焼かれた石見焼(いわゆる「石見系陶器」)を題材に、やきものから読み取れる江戸時代の社会の様子について、お話します。

日 時 令和7年3月16日(日) 14:00~16:00

会 場 みよし風土記の丘ミュージアム 研修室

定 員 100名(事前申込が必要です。先着順で受け付けます)

参加費 無料(※展示の観覧には別途入館料が必要です)

申込方法 電子申請システム・Eメール・FAX・はがきのいずれかで、【回数・氏名・年齢・住所・電話番号】を記入し、【電子申請システム】館までお申込みください。



みよし風土記の丘ミュージアム

(広島県立歴史民俗資料館)

〒729-6216 三次市小田幸町 122
TEL 0824-66-2881 FAX 0824-66-3106
e-mail: rmsgakugei@pref.hiroshima.lg.jp